

## 第 3 次丹波篠山市総合計画 後期基本計画

## 各論（案）に対する全体的な意見

・計画全体的に「横の連携」が不足している。観光は「農業」や「文化財の活用」と切り離せないし、福祉は「まちづくり」と切り離せない。移住は「子育て支援」が大きく左右するなど。

・成果指標について、適切な数値目標がいまひとつピンとこないです。現状の数字がこうだから、5年後にはこの程度ですという感じの決め方で、「目標」というよりは、「予測」になっているように見受けられます。項目によっては、例えばお手本とする条件の似たような他市の数値を併記して、「ここに追いつきたいけど、現状がこうだからせめてここまで持って行きましょう」というような決め方のほうが、より良いのではないかと思います。

・成果指標の用語について、広く市民にも読んでもらうことを想定しているのであれば、もう少し用語についての説明が欲しいです。特に成果指標として掲げている項目は、とても重要だと思うので、少なくともその部分は、注釈が欲しいです。例えば「歴史4館」が何を指すのか、「認定農業者」とは何かといった、市の担当者であれば当たり前に使っている用語でも専門外だとわからないこともあろうかと思えます。

・主要な取り組みの概要について、抽象的な内容が多いので、もっと具体的に踏み込んだ内容の方が良いのではないかと思います。これは、成果目標が「目標」ではなく「予測」になっているために、抽象的にならざるを得ない面もあるのかなと思います。今回の会議の位置づけとして、抜本的に書き換えるという訳にはいかないと思いますが、現在実際に取組が行われていることや、小さな光が灯りかけている活動などを念頭に具体の事例をいくつか紹介し、その展開を論じる方がイメージしやすく、より建設的ではないかと思えます。また、当初目標より大幅に下方修正した項目や逆に上振れした項目についての分析も「成果指標を変更する理由」として、必要ではないかと思えます。